

平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第67回全国高等学校バスケットボール選手権大会

(男)準決勝

試合日: 2014/08/06
開始時刻: 10:00~
会場: 船橋市総合体育館
コート: Mコート
試合順: 第1試合(男)準決勝

Team A		Team B
洛 南	59	明 成
(京都府)		(宮城県)
	8 - 17 13 - 23 18 - 19 20 - 20	79

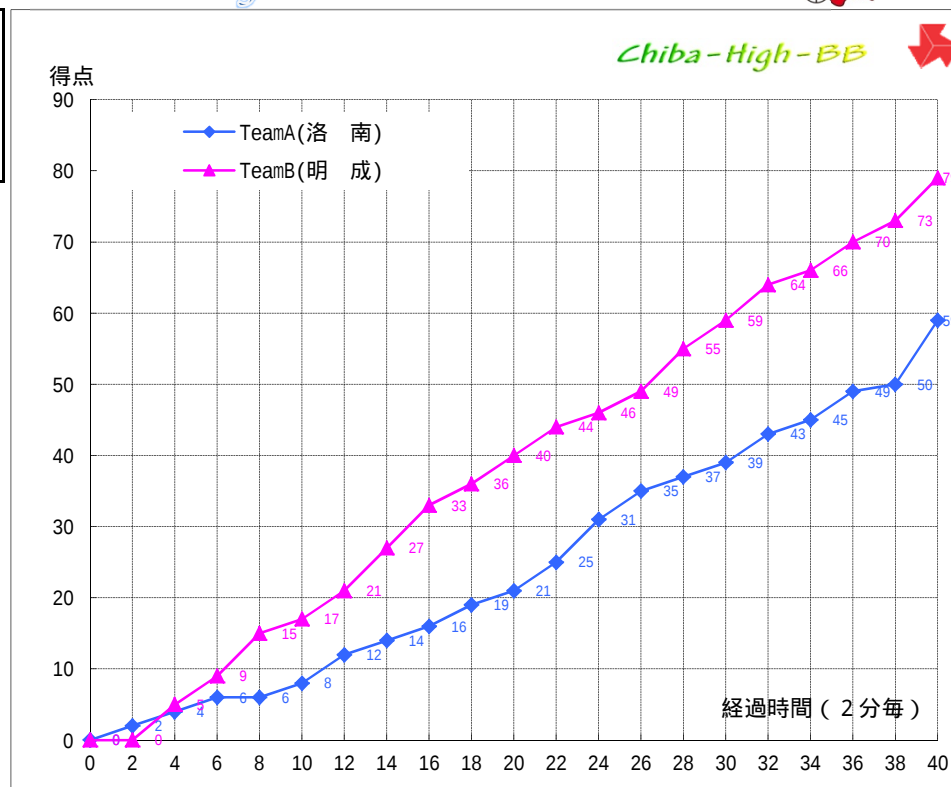
TeamA(洛 南)

No	PT	選 手 名	得点	3rd イント	2nd イント	フリースロー	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4		村井 大陸	8	0	4	0	0	0	1	1	0	0	3
5		菅 祐史	11	1	4	0	3	3	2	5	0	1	2
6	○	富田 頼	2	0	1	0	1	1	2	3	2	0	2
7		澤田 絢以	2	0	1	0	1	1	0	1	2	0	1
8		岡田 卓也	4	0	2	0	2	1	1	2	0	0	0
9	○	高田 颯斗	7	0	2	3	0	1	1	2	1	0	0
10	○	下田 忠至	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
11	○	寺嶋 良	17	0	8	1	1	3	0	3	1	0	1
12	○	荒川 颯	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
13		田邊 陸也	6	0	3	0	0	4	4	8	1	2	4
14	○	鈴木 悠介	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
15	○	津屋 一球	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	5	11	16			0
合 計			59	1	26	4	9	19	23	42	7	3	13

TeamB(明 成)

No	PT	選 手 名	得点	3rd イント	2nd イント	フリースロー	反則	リバウンド			アシスト	ブロックショット	ターンオーバー
				成	成	成		off	def	計			
4		増子 優騎	4	0	1	2	1	0	1	1	4	0	1
5	-	柳瀬 亮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6		納見 悠仁	22	0	11	0	1	3	3	6	3	0	1
7	○	富樫 洋介	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0
8		八村 塁	32	2	11	4	2	7	8	15	1	6	3
9		足立 翔	2	0	1	0	2	0	2	2	1	0	0
10		三上 侑希	19	5	2	0	2	0	3	3	1	0	1
11	-	江戸保 賢人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	-	江戸保 礼央	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	-	伊藤 修人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	○	井上 駿	0	0	0	0	0	3	3	6	2	0	0
15	-	清水 翔太	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:							0	6	6	12			3
合 計			79	7	26	6	9	20	26	46	12	6	6

InterHighSchool 2014 in Chiba 06M1



タイムアウト

	前半(1・2クォーター)	後半(3・4クォーター)	延 1	延 2	延 3	延 4
TeamA	7:36	-	26:35	35:14	-	-
TeamB	-	-	-	-	-	-

【戦評】

準決勝第1試合、質の高いプレーを見せて勝ち上がってきた洛南と、登録メンバーがすべて1・2年生ながら高い攻撃力を持つ明成の一戦。

洛南はハーフコートマンツーマン、明成はマッチアップゾーンでゲーム開始。第1P、序盤から明成は#8の高さを活かし確実に得点。洛南はミスが目立ち、ペースをつかむことができない。第2P、洛南は速いパスワークでディフェンスを崩しにかかるが、ゴール下で明成の#8が立ちばかり、得点を伸ばせない。逆に明成はインサイドから#8、アウトサイドから#6、#10がシュートを決め、19点リードで前半を終える。第3P、洛南はディフェンスをボックスワンに変更し、シュート精度の高い明成の#10を封じにかかる。これが功を奏し、一時11点差まで追いつける。しかし、明成#10はマークをものともせず3Pを決め、すぐに流れを引き戻し、洛南は追いつくことができない。第4P、洛南は1-2-1-1ゾーンプレスを仕掛け、#11のドライブインから得点するものの、前半の得点差が響き追いつくことができず試合終了。攻守ともにレベルの高いプレーを見せた明成が79-59で勝利し、決勝へ駒を進めた。

審判	吉橋 雅一 / 渡邊 整 / 平原 勇次	戦評	久保田 伸司
----	----------------------	----	--------